
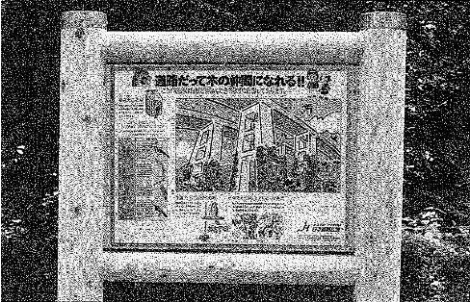


個票 14 標識や案内板の設置による注意喚起 [道 2(2)④5-1]

(2010年作成)

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の生息・生育環境の保全・創出
配慮事項	騒音などの防止		
配慮事例	交通事故防止看板などの設置		

内容	<p>●標識や案内板の設置による注意喚起</p> <p>【解説】</p> <p>野生動物の交通事故死（ロードキル）を減らすためには、道路利用者の協力も必要となります。そのため、野生動物と車などとの衝突の危険性があるところでは、<u>ドライバーの注意を喚起する標識の設置を検討することが望まれます。</u></p> <p>また、パーキングエリアや展望スポットなどには、周辺の<u>自然環境について紹介する案内板を設置</u>することで、自然環境への関心と理解を喚起し、<u>生物多様性への意識を高めることにつながります。</u></p> <p>【具体的な工法・配慮事項】</p> <p>●標識の設置</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>出典:2</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>① 野生動物が現れる可能性の高い区間など、的確な位置に設置します。</p> <p>② 常設の標識は、古くなると注意喚起しにくいので、特に注意すべき時期や区間に限定して設置するなど、配慮します。</p> </div> <p>●案内板の設置</p> <div style="display: flex;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>① 記述は正確で、分かりやすい構成にします。</p> <p>② 情緒的な感傷的な表現にならないよう注意します。</p> <p>③ 地域の人々や自然観察活動をしているグループなどの協力を検討します。</p> </div> </div> <p>出典:3</p>
----	---

【事例】



【場所】

兵庫県 北近畿豊岡自動車道

【環境配慮の内容と方法、工法】

- 車と動物の衝突の危険性が考えられる場所には可能な限りドライバーに注意喚起する看板を設置した。

出典:1・4

留意点

- 参考資料
- 1 「北近畿豊岡自動車道エコロード検討委員会報告書」建設省近畿地方建設局豊岡工事事務所
 - 2 「自然との共生をめざす道づくり - エコロード・ハンドブック -」(財)道路環境研究所 エコロード検討委員会、大成出版社
 - 3 「エコロード 生き物にやさしい道づくり」亀山章編、ソフトサイエンス社
 - 4 豊岡河川国道事務所 HP
(<http://www.kkr.mlit.go.jp/toyooka/jigyoo/route483-kitakinki/route483.html>)